

# 大人の本気、お伝えします

## JAMSTEC の主任研究員、伊藤元雄さんの探究講演でした



伊藤さん(中央左)の話を熱心に聞く1~3年生たち

5月24日(水)、本年度2回目となる探究講演が「世界から高知へーDn2K」の成功の秘訣」と題して実施されました。講師は、国立研究開発法人海洋研究開発機構・高知コア研究所主任研究員である、伊藤元雄さんです。

伊藤さんは、はやぶさ2が持ち帰ってきた小惑星リュウグウの岩石サンプルの調査・分析に携わるチーム「Dn2K」(フェーズ2高知キュレーションチーム)で、国内

# グローバル探通信

07号

★編集★  
グローバル探通信班



リュウグウの岩石サンプルを凝視

外的研究者をまとめるチームリーダーです。G探には、4年前の学科発足時から昨年度まで、アドバイザーとして関わってくださっていました。

今回の講演では、伊藤さん曰く「大人の本気を結集した」はやぶさ2の成分解析プロジェクトの概要と、それに伴うチームづくりの実例についてをメインにお話しいただきました。

岩石サンプルは、持って帰ってこれて0.1gくらいかと思われていましたが、実際には、4gも持ち帰ってきてくれたようです。サン

プルが手元に来たら、寝食を忘れるほどの密度での解析が待っています。そのため、実験が効率よく順調に行えるように、メンバーのタイムスケジュールは事前に綿密に決めておく必要があります。最終的には、1時間単位まで落とし込んだスケジュールがなされていきました。事前準備が本当に大事であると、伊藤さんは語っていました。

また、チームを作るうえで必要な視点は、「全員の研究結果として良いものを出すこと」だそうです。最終的にリーダーだけが得をするような組織ではダメで、各メンバーが自身の専門分野で新たな論文を発表できるように詳細に計画を立てて、各人の力を持ち寄り、相乗効果を挙げられるチーム作りを意識されて

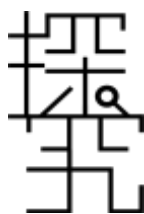
いたとのことでした。「チームワークは大事。モチベーションも結果も全然違ってくる。自分たちの状況が今どうなっているかを、チーム全員が把握することが大切。」というメッセージは、過去にグループ探究の経験がある2・3年生はもちろん、今まさにそれを行っている1年生にも響いていたようです。

不公平感なく、自分の強みでチームに貢献できるように組織を作ることが、よい探究を行う秘訣なのかもしれませんね。

講演後には、お持ちいただいた隕石のサンプルも見せていただきました。生徒たちはデジタル顕微鏡で見たり、袋の上から観察したりと、興味深そうに聞いていました。

講演後、生徒たちからは、「スケールが桁違いだったけど、自分たちにも通じる点があった面白かった。」「即断即決という言葉が印象的だった。私も判断を早くしていきたい。」といった感想が寄せられました。

はやぶさ2のミッションのような500億円規模の研究も、私たちの行う小さな探究も、根っこは同じ。まだ誰も知らないことを、ほんの少しでも解明することです。G探は今後も、答えのわからない問いに向かって頑張っていきます！



隕石のサンプルにも興味津々

講演後、生徒たちからは、「スケールが桁違いだったけど、自分たちにも通じる点があった面白かった。」「即断即決という言葉が印象的だった。私も判断を早くしていきたい。」

山田高校のこと、進学のことなど、何でもお答えします。

相談会希望の方は、山田高校 ☎0887-52-3151

担当：清水・中越まで

お気軽にお問い合わせください

副校長の  
中越  
です

校長の  
市原  
です

教頭の  
清水  
です

★山田高校からのお知らせ★